

可認物便郵種三第

(號六十九百五第)

シネラリヤの栽培(七)
農試分場 小島三千雄

温度、シネラリヤは夏期は出来るだけ涼しく冬期間に於ける夜間は華氏の五十度、日中七十度位が適温であるが温室地の觀賞用であるなれば成べく低温に栽培した方が花性が良らしい、又營利的栽培をしてほ花蕾の発生するまではフレーム内に培養し十二月となり僅少の酸熱物を踏み込み本期に凍らぬ程度を備へ(當て城分場では酸熱材料を使用せず硝子障子の上に二重の覆を施して越冬する)花蕾の表はされるものを敗賣の都度小量の最低五十度内外の温室に或は温床に特込めば七、八日にて開花し尙ほ四月頃開花せしむる目的であれば冬期間凍らぬ程度に保溫して置いて恰度目的の四月頃から自然温度に開花しまだ露地草花の出来ない頃に店頭を賑やかすること出来る、だが大體の花を見やらうとするには夜間少なくも十五度以上の温度が必要である。

株種、種子取りは當地に於ては四月下旬が適當で乾燥するフレーム内で開花せるものとするとには夜間少なくも十五度以上の温度が必要である。古い種子は殆んど發芽せないものであるから其年に使用するだけつゝ株種せなければならぬ終

寒さ知居心 ● 晴
平隣前 力フニ
△常は布團の
△旅行には
△非常
赤玉印
フトン袋
御類似品有赤玉印に注連
を願ます
松印 夜具五入枚
竹印 夜具二枚入
梅印 夜具貯枚入
三重蓋 バンド付
四圓五拾錢
！各種陳列目下
賣出し中！
特約販賣店
本日より「魚燻」
に江戸一流の
裁の良い都
御引立を願ひ
◆ 私しや都で生れ
すいもあまいり
樂者呼ぶにも御